授業科目 解剖生理学Ⅲ (呼吸・循環・血液・内分泌)	担当講師名	単位数 2	時間数 45	履修年次・前 / 後 1年次/前期
講義のねらい	1 呼吸器・循環器の構造と機能について理解する。 2 生命現象の基本である呼吸・循環機能を関連付けて理解する。 3 内部環境・外部環境の変化にともなう調整機能を理解する。			
授業形態	講義・演習			担当及び時間
講義内容	1 呼吸器系の構造と機能 1)呼吸器の構造 (1)鼻・咽頭・喉頭・気管・肺・肺の血管・神経 2)呼吸機能 (1)肺活量・最大吸気量・1 回換気量・強制呼出曲線・努力呼吸・吸気ガス・酸素濃度・二酸化炭素濃度・再呼吸法 3)呼吸器の機能と酸塩基平衡 (1)残気量・肺毛細血管・酸素の拡散・二酸化炭素の拡散・酸塩基平衡作用 4)呼吸とガス交換 (1)呼吸運動・肺でのガス交換・呼吸中枢 2 循環器系の構造と機能 1)循環器系の構造 (1)大循環と小循環・心臓の構造・リンパ性器官 2)循環器の機能 (1)心臓のポンプ機能・心臓の電気現象・心臓の神経支配・末梢循環器系の構造・血液の循環とその調整 3 血液造血器 1)造血器・血液・組織液・リンパ (1)骨髄・血液の成分・血漿と血清・ヘマトクリット・赤血球の形態・数・生理作用・ヘモグロビン・赤血球の新生と崩壊・ABO式血液型・Rh因子・白血球の分類・生理作用・血液の凝固・トロンビンの形成・フィブリンの形成・血小板・抗凝固物質・血液のPH 4 内分泌系の構造と機能 1)内臓機能の調整 (1)自律神経による調整 (2)内分泌による調整 (3)全身の内分泌腺と内分泌細胞 (4)ホルモン分泌の調整 (5)ホルモンによる調整の実際			10 12 8 7 8
教科書	系統別看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 ①「解剖生理学」(医学書院)			
参考文献	1 見てできる臨床ケア図鑑 循環器ビジュアルナーシング(学研メディカル秀潤社) 1 見てできる臨床ケア図鑑 呼吸器ビジュアルナーシング(学研メディカル秀潤社) 1 ステップアップ解剖生理学ノート(サイオ出版) 3 必要に応じて資料を配付する 4 心臓の動きについては、パワーポイントや DVD を用いる			
評価方法	終講試験 1・2 各 50 点 合計 100 点、終講試験 3・4 各 50 点 合計 100 点			
備考欄	講師とのコンタクトについては授業終了後または終講時に案内する			